

おわりに

以上、平成24年度の市政執行に臨み、取り組む重点を述べてまいりましたが、これらを進める上においては、優秀な『人財（人は財）』、貴重な『財源』などの経営資源を最大限に有効活用し、どのように質の高い行政サービス水準を確保し、市民の満足度を高めていくかを重視していく『行政経営』という考え方を徹底していくことが不可欠であることから、『登別市行財政改革実施プラン』を確実に進めるとともに、市民に開かれた、市民の皆さんから信頼される誠実な市政を引き続き推進してまいります。

本年は、多くの市民の皆さんからの負託を受け、このまちの舵取りを任されてから最後の年になります。

私は、これまで、公正・公平・平等を信条に1人でも多くの市民の皆さんや各種団体の皆さんの声を市政に反映するため、地域に赴き、市民や各種団体の皆さんと膝を交えて話し合うことをとても大切にまいりました。

私は、就任当初から、まちづくりを進めるうえで大切なものは『市民力』であると話してまいりました。

『市民力』は、まちづくりに関心を持ち、参画する市民の皆さん一人一人が持っている知識や経験、能力であり、また信念を持って主体的に行動する力であります。

まちづくりを通して人と人とのつながりによるネットワークを築き、『市民力』を結集してより大きな力とすることが、さらに大きくまちづくりを推進させる『地域力』となるものと確信しております。

一昨年の市制施行40周年に市民の皆さんが集い、自ら考え、成し遂げた『元鬼まつり』の成功や、昨年の『地獄まつり』の鬼踊りに自主的に参加された町内会の皆さんの熱い心意気を見て、登別の『市民力』が結集し、『地域力』が高まっていることを実感しております。

昨年は、1年の仕事始めに『結』の年となるよう願いました。

3・11以降、『結』の気持ちで、多くの方々と『絆』を生み、結びつき、支え合い、1年を共に歩み乗り切ることができました。

本年は、市民の皆さんと共にさらなる『市民力』の結集を図り、明日、そして未来が、多くの希望に満ちた登別市になるように願いを込めて『望』の年と位置付け、市民の皆さんや職員と共に知恵を絞り、先見性とスピード感を持って市政に取り組んでまいります。

以上、平成24年度の市政執行に臨む基本的事項について申し上げましたが、市民の皆さん、議員の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、私の市政執行方針といたします。

